

高砂市議 一人会派 緑の党グリーンズジャパン

# 井奥まさきの市政ニュース

2016. 2・3

(月刊+：2月、3月合併号 通算 108号)



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」  
でweb検索を

## 市長選挙

# 市長選挙に4候補が出馬予定!私が考える3つの争点

高砂市議 井奥まさき

そうした新しい動きにより高砂市の重要な市政課題は何か、次の4年間をどのように描くのか、4人の政策論争の盛り上がり期待したいと思います。

## 3つの争点の対応で市政が変化

以下、私が考える3つの争点を述べます。現在の市政運営者である現職市長に厳しいコメントになるかもしれませんが、全体的に無難な行政運営を続けている登市長に突きつけられている重要な政策課題であり、リーダーの選択肢によって高砂市の行く末が変化する重要な課題とも言えます。

その後、4月1日に山本琉介さんは立候補をとりやめ、三者での戦いが予測されます

## 私は政策議論の盛り上げに徹していきます

現職の登幸人市長(65)に対して、ベテラン市議員の生嶋洋一さん(73)に加え、元市議の中西一智さん(40)、山本琉介さん(70)が立候補を表明しました。4月3日告示、10日投票の高砂市長選挙に現職・ベテラン・若手の4人が名乗りを上げました。出馬の決意に敬意を表しつつ、お四方に失礼ながら「ベスト」候補者はないと言わざるをえません。

私自身はさらに「第5、第6」のよりよい候補者の出現を望んで

います。ただ、3人に絞られた場合、それでもその中から「よりマシ」な市長を市民が選ぶことが重要だと考えています。私は三者からは等距離の立場で政策議論の盛り上げを図りたいと考えています。3月27日には高砂青年会議所が主催の討論会が開催されました。他にも公開演説会や公開アンケートなど市民の動きを宣伝で支援していきたいと思っています。私のHPでも収集した資料を選挙期間中に公開します。(ネット解禁で選挙中のメール以外のネット活動は自由になっています)

## 争点① 高砂市民病院の行方は…

平成27年度補正予算で「単年度の特別繰入れが5億円」と提案されました。以前のように赤字を累積させて「不良債務」とするよりはマシですが、総額300億円の一般会計予算よりすでに年間約16億円の繰り出しをしています。今年の7月に600床の新加古川市民病院が開設します。これにより、高砂市民病院の経営も大きな影響を受けることは必至です。高砂市民病院は病院と自宅の間をつなぐ「包括ケア」病棟を新設して打開しようとしています。新しい医師確保が非常に難しい中

で、大野病院管理者に任せるだけでなく、設置者たる市長の経営手腕が問われます。

私が心配するのは医師数が大きく変化しない中で平成27年度(2015年)は予想を超えた1億円以上の赤字だったことです。また、今後「5億(2015)、2億(2016) 1億(2017) 0.1億円(2018)」と劇的に経営が改善するという計画が出されており、それを前提に中期財政計画が作成されています。しかし、その範囲で済むとはどうも思われません。

市民病院への繰り入れが爆発的

に増えれば、他の市政課題に回すお金がなくなってしま



まいます。私は市民病院存続を前提に、市税の年間5億円程度の特別繰り入れ予算を明示することを考えるべきと議会で提言。例えば、患者増のために市内各地から市民病院行きの無料の福祉バス(休日はショッピングセンター行き)を新設すること、給食業務の民営化を具体的に示しています。各候補者の訴えも注目です。

争点②③に続く

## 高砂市長選挙 公開討論会に参加して

3月27日(日)19時~高砂市民会館じょうとんばホールで開催された高砂市長選挙の公開討論会。初めての試みでしたが、熱気ある議論を聞くことができました。ぜひ定着してほしいものです。また4氏には今後も市政についての熱い論戦に期待します。

## ゲーム・ネットとの付き合い なかなか難しいですね



**みんなゲームを持っているんだ**

妻はコンピューター関係の仕事をしています。私が用事があったので「子どもたちのインターネットトラブル」の公開授業に参加してもらいました。帰ってきて「興味深かった」とプロの目から見てもいろいろな気づきがあったことを興奮気味に話していました。

まず、妻がびっくりしたのはゲームの保有数です。「DSやPSなどのゲームがある方」と呼びかけられてほとんどの子どもたちが

手をあげていたそうです。私たちの時はファミコンを持っている人も少なかったものですが…ちなみに我が家は両方ともありません。パソコンなどを使っています。

**長時間のゲームにも注意を**

セキュリティや過大なネット課金…と気をつけないといけなことも多いとのこと。わかりやすいお話に子どもたちもうなづいてたそうです。他にも時間もしっかりと決めておかないと長時間の使用になるとか。うちの子どもたち

も「マインクラフト」というゲームにはまりすぎているので、設定で夜遅くや早朝にはゲームができないようにしました。高砂市の平成28年度予算では全小中学校に今までの倍となる1校40台ずつのコンピューターを導入することが提案され、可決されています。ますます身近になるゲームやネット。なかなか付き合い方が難しいですね。

## 争点② 市庁舎建て替えと中長期財政の見通しは

登市長は3月2日の本議会で「市庁舎は平成34年度完成をめざして現地建て替えで」と表明しました。市庁舎建て替え60億円や浸水対策で中期財政計画（と長期財政見通し）では平成31年[2019年]で400億円以上の市債（借金）残高の予想がされています。総額300億円程度の高砂市で400億円以上の市債残高は市政初です。

選挙前の大盤振る舞いで各種計画予定を積み重ねた結果、財政が

痛んできています。

もちろん市の行う事業に大きく言えばムダなものはないのですが、テンポや優先順位、市民との合意などを丁寧に行わないと余計な摩擦がおきます。（いまだに反対運動が根強い広域のゴミ処理施設問題はその典型です。他にも伊保幼稚園の廃園問題もあります。）

選挙前のバラマキ予算となった平成28年度[2016]予算では調査もろくにせず計画づくりに突入したケースもあります。

市庁舎問題では登市長が表明した現地建て替えに対して、他の2候補はどう判断されるでしょうか。私は耐震改修、あるいは議会棟部分だけ壊して建て替える「部分建て替え」を提言しました。その処理で15年程度は踏ん張り、きちんと基金を積み立てしながら市民病院の経営状況などを見た上で本格的な建て替えを判断すべきと思うのですが。

大盤振る舞いで将来のツケを残す市政運営には注意が必要です。

## 争点③ 市長の姿勢 退職金、手法の差など

高砂市長の給与は他市と比較して28市中5位という状況です。加古川市長や明石市長らが公約に従って給与カットをしているのに対して、登市長は逆に独自カットを取りやめたりしているからです。他にも4年ごとの200万円

の退職金の是非、ザル法となっている資産公開条例の改正など詳細の論点は多くあります。

私の議会質問にも「（給与削減など）そのようなことは高砂市では重要ではない」という趣旨の答弁を繰り返し、「貯金ゼロ」にも「今

は資産公開条例を変えるつもりはない」と答弁しています。他にも「顔が見えない」と言われている無難な市政運営を続けている市役所出身の登市長と民間リーダーシップを強調する他の二人の候補との「手法の差」もポイントです。

他にも学力向上、子育て、人口減少社会や道路網建設など市政の課題は多くありますが、基本的にはどの候補も課題への取り組みは否定しないでしょう。となると、それらの諸課題についてはそれぞれの候補者の「政策のメリハリ」が重要となるかと思います。現職の登市長は「どの課題にも取り組んでいる」と言うでしょうし、道路網などインフラを重視する候補、子育て・教育政策重視する候補などと分かれていくかと思います。市民の皆さんも一人一人が考える「争点」を候補者やまわりの運動員の方と話し合ってください。